

# 西大和つうしん

2014年 10月号

No.388



今津武奈ヶ嶽付近から若狭湾を望む

9月20～21日例会山行（テント泊）：高鳥トレイル

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第388号(2014年10月号)

## 【目 次】

10月度山行計画.....	1
10月度・11月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
<b>山行報告</b>	
・広域捜査訓練 《9月7日》 大峰の山 洞川周辺(藤本).....	5
・例会山行2 《9月14日》 鈴鹿の山 鎌ヶ岳(玉越).....	6
・例会山行1 《9月20-21日》 高島トレイル 赤坂山～大谷山・三重ヶ嶽～ 武奈ヶ嶽(杉村).....	7
・下見山行 《9月23日》 江若国境 三十三間山～轆轤山(藤本)....	9
室内例会だより(8/31).....	10
運営委員会だより(8/31).....	11

## 10月度山行計画

～三峰山中で観月の宴はいかがでしょう～

◆10月4日(土)～5日(日)：例会山行2・女性部山行(月見山行)

◆台高の山《三峰山》

〔L：村田 / 緊連：林〕

【集 合】10月4日 15：00 上牧町役場前駐車場

【コース】10/4：御杖青少年旅行村～林道～御杖村村営小屋、  
あるいは森林組合展望小屋(泊)

10/5：《登尾コース》～村営小屋～三峰峠～三峰山～八丁平

《新道コース》～八丁平～三峰峠～新道峠～登山口～林道分枝

【歩行時間：約3時間30分】

【注 意】 宿泊の小屋には寝具、食糧なし、シュラフ持参。 帰路入浴予定。

～2つの岩峰を踏み秋空の曽爾高原へ～

◆10月12日(日)：例会山行1 ◆宇陀の山《古光山952m》

〔L：橋本 / SL：島崎 / 緊連：都築〕

【集 合】7：00 上牧町役場前駐車場

【コース】大峠登山口(9:00)～南峰(10:00)～▲古光山頂上(10:30)～

フタカツ分岐(11:30)～後古光山(12:00)～曽爾高原(14:30)

【歩行時間：4時間30分】

【帰着時刻】 上牧町役場前駐車場 17:00頃

～低山ながら変化に富んだロングコースへ～

◆10月19日(日): 例会山行1

◆比良の山: 《リトル比良(岩阿沙利山) 686m》

〔L: 阪口 / SL: 藤井 / 緊連: 都築〕

【集 合】 JR 王寺駅中央改札前 6:55 7:03 発大和路快速大阪行に乗車

【コース】 近江高島駅(8:54 着)～大炊神社～岳山～岩阿沙利山～滝山～

JR 北小松駅

【歩行時間: 約 7 時間 30 分】

## 登山バス

～若狭の海や三方五湖を眺めながら、秋風も心地よい草原歩き～

◆10月26日(日): 例会山行2・登山バス(奈良県連交流山行)

◆江若国境の山《三十三間山・轆轤山》

〔L: 藤本 / SL: 杉川・阪口・今井 / 緊連: 田中(悦)〕

【集 合】 JR 王寺駅南口 6:30 発

(他会参加者が多数の場合は、集合地を追加する可能性あり)

【コース】 (往復アクセスはバス利用)

《往路》王寺駅(6:30 発)＝香芝 IC＝〈西名阪道・近畿道・名神〉

＝京都南 IC＝〈R367・R303・R27〉＝倉見登山口駐車場(10:00 着)

《登山行程》倉見登山口 P～(40min.)～最後の水場～(40)～夫婦松～(30)～

風神～(20)～▲三十三間山(12:30/13:00)～(35)～▲轆轤山～(45)～

林道白屋線出合～(45)～国道 27 号線出合(15:25)

【歩行時間: 4h15(+途中休憩 0h40+昼食 0h30)⇒所要計: 5h25】

【歩行距離: 9.5km / 最大標高差: 732m(最低 110m/最高 842m)】

《復路》国道 27 号線・倉見白屋林道出口(15:30 発)＝〈往路の逆コース〉＝王寺駅南口(19:00～20:00 頃帰着)

【費用】9/24 現在の申込み数: 26 名。費用は 4,400 円程度。参加者が増えればさらに安価となる(10/5 締切で最終額が確定する予定)。なお、費用は当日徴収するが、申し込み後キャンセルした場合も後日同額を申し受ける予定。

《費用の参考》バス代 130,000 円、高速料金 12,000 円、運転手への謝礼 3,000 円: 計 145,000 円(うち県連会計より 30,000 円を補助)

※参加人数に応じて、複数のグループに分ける。なお、参加者のレベル等により、轆轤山方面へ行かずに、倉見登山口～三十三間山間をピストンするグループを設定することがある。

※渋滞等により、登山口への到着が大幅に遅れた場合、雨や濃霧の発生など悪天の場合などは、すべてのグループを倉見登山口～三十三間山のピストンとすることがある。

※10/25(土)17 時発表の気象庁予報において、福井県嶺南地方の降水確率が当日 6:00～18:00 の間に 60%以上となる場合は原則として中止とする。なお、中止/決行の通知は本会 HP 上にて 10/25 の 18:00 までに行うと同時に、他会代表者にはメールでも通知する。

# 西大和山の会 カレンダー

10 月		11 月	
1	水	1	土
2	木	2	日
	県連登山学校・座学第6回(県連事務所19:30)		
3	金	3	月
4	土	4	火
	◆女性部山行(月見山行)・		県連理事会(県連事務所19:30)
5	日	5	水
	台高:三峰山(村田)		
6	月	6	木
	└10/5 県連登山学校・訓練山行		
7	火	7	金
	県連理事会(県連事務所19:30)		
8	水	8	土
9	木	9	日
			◆例会山行・宇陀:音羽山(都築)
10	金	10	月
			└11/9 県連登山学校・訓練山行(前夜祭)
11	土	11	火
12	日	12	水
	◆例会山行・宇陀:古光山(橋本)		
13	月	13	木
14	火	14	金
15	水	15	土
16	木	16	日
			◆公開山行・奈良中部:山の辺の道(林)
17	金	17	月
18	土	18	火
19	日	19	水
	◆例会山行・比良:トール比良(阪口)		『西大和つうしん』12月号原稿締切
20	月	20	木
21	火	21	金
22	水	22	土
	『西大和つうしん』11月号原稿締切		
23	木	23	日
			◆例会山行・紀北:龍門山(杉村)
24	金	24	月
25	土	25	火
	└登山バス・県連交流山行		
26	日	26	水
	◆例会山行・江若国境:三十三間山(藤本)		◆室内例会(事務所19:30)
27	月	27	木
28	火	28	金
29	水	29	土
	◆室内例会(事務所19:30)		
30	木	30	日
	県連登山学校・座学第7回(県連事務所19:30)		
31	金		

## 山行・行事等参加メモ

		室内例会	例会山行2 女性部山行	例会山行1	例会山行1	例会山行2 登山バス				
入会順		9/24 室内 例会	10/4-5 三峰 山	10/12 古光 山	10/19 リトル 比良	10/26 三十三 間山				
1	(窪田)					×				
2	都築	○	○	×緊	×緊	○				
3	藤井	○	○	○	○	○				
4	(石田)									
5	多賀	○	×	○	×	○				
6	田中悦	○	○車	△	×	×緊				
7	島崎	○	○車	○車	○	○				
8	田中初	○	△	△	×	○				
9	村田	○	○L	×	△	○				
10	林	○	×緊	×	×	○				
11	辻	○	×	○車	×	○				
12	勝尾	○	△	△	○	○				
13	藤本	○	×	×	×	○L				
14	杉村	○	△	×	○	○				
15	高橋	休 会 中								
16	玉越	×				○				
17	的場	○	×	×	○	×				
18	杉川	○	×	×	×	○SL				
19	阪口	○	×	×	○L	○SL				
20	橋本	○	×	○L	△	○				
21	今井	○	×	×	×	○SL				
22	亀高	×	○	×	○	○				
23	松浪	×								
24	亀井	○	○	○	×	○				
25	船江	×	○			○				
	合計	18	8+α	6+α	7+α	19				

赤字部分は 9/25 に追加修正



## 例会山行 1 (県連主催広域搜索訓練)

## 大峰の山 (洞川周辺) 西大和担当: 《レンゲ谷》

【日 程】 9月7日 (日) [準備: 9月6日 (土) 参加者中\*印は準備より参加]

【参加者】 L 藤本\*・島崎・田中 (悦)・杉川\*・阪口\*・今井\*・亀高 (7名)

【コース】 清浄大橋(10:26)~林道終点(10:46/55)~搜索目標発見地点〔昼食〕  
(11:55/12:19)~林道終点(12:57)~清浄大橋(13:16)

通算 7 回目となる今回の奈良県連主催広域搜索訓練は、洞川方面に登山に出かけた会員が帰宅しない (計画書不提出のため、具体的コースは不明) との想定下、遭難者を表す搜索目標をグループに分かれて探すという形で実施された。より実践的効果を高めるため、9月5日 (金) 召集の遭難対策会議までは、搜索コースやタイムテーブルなどは発表されず、搜索目標も、登山道上ではなく、間違っ迷い込みやすい谷筋や枝尾根など、少し離れたところに設置された。

訓練前日の9月6日には、西大和からの県連登山学校受講者 (修了生も含む) 4名と、救助隊長代理・県連教育担当常任理事の中武氏、同事務局長の豊田氏の合わせて6名が準備のため現地入り、分担して各搜索コースの目標設置を行った後、観音峯登山口駐車場にてビバーク講習を開始。夜はテント泊とビバーク実習の予定であったが、豪雨のために予定変更、豊田氏のはからいで天川村九尾集落の某留守宅に宿泊 (無料) となり、その周辺でのビバーク実習、併せて前夜祭? も行った。

訓練当日は予想外の好天、9:30 に観音峯登山口駐車場に集合、中武氏より説明の



あと、連盟 6 団体の計 38 名が本部と 5 つの領域 6 コースに分かれて搜索開始。西大和は県連救助隊事務局の藤本が本部詰めとなった以外は、奈良労山の女性会員 2 名と共にレンゲ谷コース (清浄大橋~レンゲ辻女人結界) を担当し、標高 1,350m 付近に設置された搜索目標を 11:55 に発見、続いて昼食の後、一時間足らずで清浄大橋に下山した。他のコースでも 13:05 までにはすべての搜索目標が発見され、

14:40 にもとの集合場所に再度参集、反省会を行って 15:15 に解散となった。

今回の搜索には無線を使用した、レンゲ谷コースからは一度も本部へ直接連絡が取れず、他のグループの中継を介しての通信となり、しかも中継担当者の不手際もあって、スムーズな情報伝達にはまだまだ課題が残った。携帯電話や携帯メールによる補助手段も併せ用いられ、場合によってはこちらの方が有効な場合も多いことが判明。その他、搜索目標が赤色のため、山中ではむしろ見にくいことも指摘されたが、これは、入山時の服装やリュックの色を選ぶ際の目安ともなろう。そしてなにより、「山行計画書」提出の重要性を改めて実感したという会員が多かった。搜索の実際的手法の習熟以上にこのことが重要なのは言うまでもなからう。

(藤本 武司)

## 例会山行2

鈴鹿の山 《鎌ヶ岳》

【日 程】9月14日(日)快晴

【参加者】L 林・SL 多賀・島崎・亀高・藤井・勝尾・杉村・的場・橋本・亀井・玉越(11名)

【コースタイム】宮妻峡キャンプ場 P(8:30)～登山口(9:10)～水沢峠(10:00)～水沢岳(10:35)～昼食(11:10/35)～岳峠(12:05)～鎌ヶ岳山頂(13:00/20)～水場(14:20)～カズラ谷登山口(15:15)～宮妻峡キャンプ場 P(15:25)

雲ひとつない抜けるような青空。車窓から、御在所岳からずっと眺めるだけだった憧れの鎌ヶ岳にようやく登ることができた。

宮妻峡キャンプ場は立派なバンガローと調理場があって、駐車場も広い。水沢もみじ谷は紅葉スポットとして知られる。宮妻峡沿いの林道を40分ほど歩くと水沢峠の登山口に着く。しっかりとした峠道が続くが、何度か沢を徒渉する。水量が多い時には注意が必要だろう。急斜面をジグザグに、ぐんぐん高度をあげて行く。日



射しが強く、木漏れ日がきらきらと斜面を照らす。気温も上がり体力を消耗する。水沢峠を過ぎたあたりからは、ガレ場になって滑りやすい。40分ほどで水沢岳山頂に着く。ここは南・東方面に展望が開け、入道ヶ岳や四日市の町が見渡せる。

ここから鎌ヶ岳を眺めながら縦走となる。ガレ場、やせ尾根、笹尾根、樹林帯、岩場、キレットといった変化に富んだ鎌尾根を、アップダウンを繰り返しながら

岳峠まで進む。確かにしんどい。笹に体を押し返されそうになるが、徐々に近づいてくる鎌ヶ岳の尖峰に励まされる。山頂は南北に長く、北は武平峠を経て御在所岳へ繋がる。ゆっくり展望を満喫した後は、岳峠まで戻りカズラ谷コースを下山する。展望のない樹林帯の尾根道は、細い水の通り道が刻まれた砂地の部分を除くと、比較的歩きやすい。大きな滝まで下りると、沢を徒渉して20分ほどで登山口に帰ってくる。



鎌ヶ岳は鈴鹿のシンボリック的存在であり、難易度や縦走する山の組み合わせでいくつものコースがとれる。何度でも行きたい山だ。

(玉越 啓子)

## 例会山行1 (テント泊)

### 高島トレイル：《赤坂山～大谷山・ 三重ヶ嶽(山上ヶ嶽)～武奈ヶ嶽》

【日 程】9月20日(土)～21日(日)

【参加者】L 藤井・SL 島崎・多賀・藤本・亀高・的場・杉川・辻・勝尾・今井・橋本・亀井・船江・杉村 (14名)

#### 1日目 《赤坂山》823.8m ～《大谷山》813.9m

【日 程】9月20日(土) 快晴

【コースタイム】マキノ高原(9:16)～栗柄峠(11:00)～赤坂山(11:20/45)～栗柄峠(12:00)～寒風(12:50)～大谷山(13:18/33)～寒風(14:00)～マキノ高原(15:30)＝ヴィラ・デスト今津(16:15)〔テント泊〕

4台の車にテント装備、食料を分け、西名阪～近畿道～名神～湖西道路を一路マキノ高原へ。途中、飲み物の仕入れをする。

メタセコイヤの並木道を通りマキノ高原へ、駐車場にはすでに多くの車が止まり、野外学習の子供たちで賑わっていた。

スキー場グレンデを通り長い階段、急登を上るとタイミング良くベンチがあり分岐となっている、花崗岩の滑りやすい道を進み暫くすると広場に出る。そこには立派な東屋があった。



歩きにくいU字溝とブナの木も見ようになるがそのうち展望が開け栗柄越となる。一帯はススキ、ササの草原、緩やかな登りを進むと赤坂山山頂。360度の眺望。伊吹山、琵琶湖、青葉山？白山？見える？見えない？山座同定に話が弾む。眺めていても飽きもせず最高の幸福である。

お昼を済ませ栗柄越へ戻る。この付近は周りが広く見渡せてハイキングのように歩きやすく気持ちがいい。陽に輝いたススキ

の穂に、トリカブトの紫色が彩りを添えていた。アップダウンの繰り返しがあつつかのピークをこえて寒風へ。やはり寒風、名の如し強風積雪の関係かブナの木が曲がり変形し、根元近くから枝分かれしているのが多くみられた。

今冬の大谷山の途中撤退場所を通るが、こんなにも樹木があったのかと不思議、それ程積雪が多かったのだろう。

寒風から大きく下って、登り返し大谷山山頂へ。眼下には琵琶湖は勿論、マキノ高原、メタセコイヤの並木道、海津大崎が見える。



下山は寒風よりマキノ方面を目指し、九十九折の道を下り駐車場へ。  
そしてピラデスト今津のテッポ場へ、夕食と宴会！賑やかに空いっぱいの満天の星の下、楽しいひと時を過ごしました。テント泊いいですね～

## 2日目 《三重ヶ嶽》974.1m ～《武奈ヶ嶽》865m

【日 程】9月21日(日) 快晴

【コースタイム】ヴィラ・デスト今津(6:30)＝三重ヶ嶽登山口(7:20)～分岐(8:00)～P845(9:00)～三重ヶ嶽山頂(9:30/45)～水谷分岐(10:35)～P674(11:40/12:10)～ワサ谷(12:15)～武奈山頂(12:45)～展望所(13:00)～光明寺分岐～角川分岐(14:07)～赤岩山(14:15)～下山(15:30)

気持ちのいい朝の空気の中、美しい朝日を見ながらの朝食。テント撤収。

車の移動手配がすんで、三重ヶ嶽登山口から登る、初めからの急坂で息が上がる



殆ど植林帯を登るが 30 分もすれば明るい尾根道にでる。イワカガミの葉があちこちにみられる。木のすき間から三重ヶ嶽が覗きだす。変形のブナの根っこに注意しながら歩く、このあたりからは自然林がとても多く時々すずしい風が吹くとここち良い。落ち葉を踏みしめるとふかふかとする感触も気持ちいい。いつの間にか三重ヶ嶽山頂につく。

今回最終の武奈ヶ嶽に向かう。気持ちのいいブナ林が続くが、水谷分岐から少

しうっそうとした下草で足元に注意して下る。最低鞍部 674m にてお昼としたが 300m おりた事になるらしい。

わさ谷付近は稜線歩きとなり武奈ヶ嶽山頂近くでは日本海、若狭湾、青葉山そして琵琶湖、竹生島、伊吹山と見えだし中央分水嶺であることを教えてくれる。山頂 200m 先に展望良いと書いて有り、時間的に余裕もあったので 10 分程歩き寄ってみた。三十三間山がすぐ近くに見える。今度は反対から見る武奈ヶ嶽が楽しみ。

山頂まで戻り下山する。クマザサ、ススキの葉で手を切らないように注意しながら光明寺分岐に着き、左折すれば良かったのだが直進してしまい間違いに気が付き戻る。植林の道となり赤岩山に着いたが只の通過点のようだ。

後は下るのみ。滑る道もあったが 1 時間 15 分難なくこなし林道へ、

帰りは湖西道路渋滞の為、ソフトクリームの反省会はなく残念でした～お疲れ様～

リーダー、長距離ドライバー、テント装備、食事担当、会計、お世話様でした。有難うございました。

(杉村 好子)

## 10/26 催行予定「県連交流山行」の下見山行

## 江若国境の山 《三十三間山～轆轤山》

【日 程】9月23日(火・祝)快晴

【参加者】L 藤本・SL 杉川・阪口・今井(4名)

※下見山行につき、以下下見によって得られたコースタイム等の諸データおよび交流山行当日のための注意点のみを記す。

【概 要】倉見登山口～三十三間山の間は、よく整備されたハイキングコースだが、三十三間山から轆轤山を経て林道白屋線国道口へ至る経路は、地図上の登山道と異なる部分や不明瞭な踏み跡、別ルートへ導く紛らわしいテープなど、問題箇所が非常に多く、細心の注意を払う必要がある。

## 【データと注意点】

生駒市壱分町(5:45)＝王寺町明神(6:30 頃)＝〈西名阪・近畿・第二京阪・阪神 8〉＝山科 IC＝〈R161・R303・R27〉＝倉見登山口駐車場(9:35/51)～三十三間山登山口(10:06/07)～最後の水場(10:22/33)～夫婦松(11:10/13)～風神(11:40/49)～稜線出合～三十三間山山頂 842.3m(12:09/13)《※展望なし》～芝つきの好展望地(昼食)(12:22/59)～稜線出合：倉見方面(往路)との分岐(13:05/10)《※轆轤山方面への登山道は不明瞭で、しかも誤って進入しないようにロープが張られている。他の道がないかしばらく探すが見つからず、結局ロープをまたいで進む》～《※この間下草深く、登山道不明瞭。紫+ピンクのテープが目印。他にも様々な種類のテープあり》～轆轤山 662.5m(13:51/14:04)～稜線分岐(14:16/26)《※稜線が広いので、分岐の取りつきが見つけない。分岐には「新道集落」への案内標識(黄色テープ)あり。ただし「新道」は下山方向とは反対の谷にある集落であることが後に判明》～《※この間、地図上の登山道から経路が外れる。紫+ピンクのテープが目印》～林道新道線終点(14:46/49)《林道は下山方向とは別の新道集落へ向かう。この先登山道は地図上の表示とは異なり、しかも不明瞭。紫+ピンクのテープが目印》～P. 369 付近の鞍部(15:00/55)《※赤色テープが下山方向とは異なる場所につけられており、それに従って登るがその先踏み跡不明。テープもなし。鞍部へ戻って再度テープをさがすと、紫+ピンクのテープが、先ほどとはまた別方向(これも下山方向とは反対側)にあり、それに従ってトラヴァース道を進むが、次のテープが見つからず、急斜面を登り降りして捜索。結局最後はもとの場所に戻り、テープを見つけるのはあきらめて、下に見える林道へ直接下るルートを選択》～林道白屋線出合(16:00/03)～林道分岐(16:33)《※赤テープに従って、右側の新しい林道に進入。方向から見てこちらの方が近道に見える。ところが最後、国道への出口は高いフェンスで覆われ、外側からかんぬきが掛けられていた。幸い施錠はされていなかったの、内側から無理やりかんぬきをはずしてこじ開け、脱出。》～倉見登山口駐車場(17:01)＝小浜港(入浴)＝小浜駅前(夕食)＝〈R27・R303・R367 鯖街道〉＝鴨川東 IC＝〈阪神 8・第二京阪・近畿・西名阪〉＝王寺町明神＝生駒市(23:20 頃)

(藤本 武司)

# 室内例会だより

【日 時】2014年8月31日(日) 15:00~16:50 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、多賀、村田、田中(悦)、田中(初)、藤井、辻、勝尾、  
的場、杉川、阪口、今井、亀高、亀井、船江、都築

## 1. 山行案内

- 9月 7日(日) 例会山行1 奈良県連広域捜査訓練 L 藤本  
9月14日(日) 例会山行2 鈴鹿の山(鎌ヶ岳:鎌尾根コース) L 林  
9月20日(土)~21日(日) 例会山行1(テント泊) 高島トレール(赤坂山~  
大谷山、三重ヶ嶽~武奈ヶ嶽) L 藤井  
10月 4日(土)~ 5日(日) 女性部山行(月見山行) 台高山(三峰山) L 村田  
10月26日(日) 例会山行2 登山バス(奈良県連交流山行) 江若国境の山  
(三十三間山・轆轤山) L 藤本

## 山行報告

- 7月14日(月)~22日(火) 自主山行 北海道の山(トムラウシ山~雌阿寒岳~  
斜里岳~羅臼岳~赤岳~白雲岳~北海岳~黒岳~富良野岳) L 島崎 4名  
7月25日(金)~27日(日) 例会山行1(夏山山行) 南アルプス(甲斐駒ヶ岳・  
仙ヶ岳) L 亀高 9名  
8月 2日(土)~ 3日(日) 県連登山学校(ハイキングリーダー学校) 訓練山行  
大峰の山(天川村 九尾谷付近) L 今井(西大和3名、他会3名  
《講師中武》、計6名)  
8月12日(火)~14日(木) 自主山行 北アルプス(五色ヶ原) L 杉川 2名  
8月17日(日)~19日(火) 自主山行 木曽の山(御嶽山) L 藤井 4名  
8月22日(金)~26日(火) 例会山行1(夏山山行) 北アルプス(劔岳) L 的場 4名  
(例会山行1:北アルプス表銀座、例会山行2:伊吹山は台風のため中止)

## 3. 連絡その他

- ・県連より報告  
県連広域捜査訓練 9月7日(日) L 藤本(場所は大峰、詳しくは直前に決定)  
広域捜査と共にピバーク訓練も行われます。  
西大和では女性部山行(月見山行)でも行う予定
- ・暑気払い17:00~(場所 屋台すし 19名参加)
- ・高橋さんが9月から3月まで都合により休会されます。

(都築 周作)

# 運営委員会だより

【日 時】2014年8月31日(日) 13:15~15:00 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、多賀、村田、都築

## 案件

1. 9月7日(日) 県連広域捜査訓練について  
大峰の山 リーダの藤本が本部担当のため、別に当日のリーダーを決める。  
前日ビバーク訓練も実施される  
(5月の搬出講習会の時に全国連盟の今井講師よりレポートを提出するように言われているため。)  
西大和でも10月の女性部山行(月見山行)で実施できないか検討する。
2. 10月26日 登山バス(県連交流山行)について  
例年利用しているところでは45人乗りのバスしかない。(後日検討)  
(リーダー)藤本 (スタッフ)今井、阪口、杉川  
(例年ハイキングリーダー学校受講生が企画・運営を行っているため。)
3. 県連理事会組織構成と選出方法について  
県連理事会における審議内容を受けて、本会運営委員会において審議した結果、以下のとおり県連に提案することになった。
  - ① 理事長、事務局長、教育部長の3名のみを常任理事とする。
  - ② 各会代表理事のうち、所属会の会長ではない理事は、常任理事を兼務できるものとする。
  - ③ 会計と機関誌担当は、各会代表理事が兼務する。
  - ④ 自然保護委員長は、当該委員の中から委員会が推薦する。
  - ⑤ 女性委員会は廃止する。(目的はほぼ達成したと考えられるため。)
  - ⑥ 常任理事の推薦方法として、県連を構成する各山岳会の組織数に応じて推薦する。奈良勤労者山岳会(108)1名、奈良ハイキングクラブ(90)1名、その他の5山岳会(95)1名(推薦にあたっては各会の間で調整する。)※ただし、教育部長を除き、役職を指定しての推薦は不可とする。
4. 夏山山行について  
今期、行きたい山をあげてもらって運営委員会に回り、A・B・Cのコースに分けて実施した。→甲斐駒ヶ岳は9人も参加したので効果はあった。  
夏山山行をより活性化するためには、1人必ず山域を3つ出してもらうことが必要
5. 来期の役員については、12月までにそれぞれ人選をしておく。

(都築 周作)

# 西大和つうしん

第388号(2014年10月号)

2014年9月24日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>